



2週間で私が見たものとは？ ブラジル通信

VOL.1
2025.2
矢島美沙子

ブラジルって？

日本の反対側の国はどんな国？

面積 851.2km²（日本の約22.5倍）★南米大陸最大の国
首都 ブラジリア
公用語 ポルトガル語
民族 欧州系44% アフリカ系10% 東洋系0.4% 混血45%
通貨 レアル

世界で一番流域面積が大きく、水量世界一のアマゾン川が流れ、多様な生き物が生息しています。アマゾン川付近で生活を営んでいる人もいます。



学校

他者を大切に！

様々なルーツをもつ子ども達

現地の小学校、中学校、高校を見学しました。教室に入って、まず思うこと。それは、色んな国につながる子ども達がいるということ！

「自分のルーツは？」と質問すると、「私は日本につながるよ」「私はアフリカ！」と堂々と答える子ども達の姿がありました。（南吉田小学校でも当たり前な光景ですが…）



食べ物

あんな食べ物も！？

ミックスして食べるのが美味しい

シュラスコだけを食べているのではありません。ポンデケージョ（ポン・デ・リングのもと）、フェイジョアードなどのブラジル料理があります。また、ブラジルは移民の国。色々な国の料理が食べられます。日本から移民してきた人達もたくさんいるので、和食だって食べられます。（研修終盤に食べたうどんの感動は忘れられない。）ブラジルの外食でよくあるスタイルは、量り売り方式。大皿に自分の好きなものを好きなだけ。最後には、全部が混じり合い、新たなものに出会える楽しみがあります。



日系人

たくさんの苦勞と今

ブラジルにはたくさんの日系人がいます。研修で日系人のお宅に一泊しました。93歳の忍さんは日系一世で、今でも毎日元気に農作業をしています。ブラジルに来たばかりの頃は苦勞が多く、自分にも息子達にも厳しく生きてきたそうです。日系人の多くは、日本の文化を守りつつ、現地の文化を柔軟に受け入れて生活してきました。そんな姿を見たブラジルの人達は私達日本人を歓迎してくれるようになったのです。



教師海外研修

多文化共生とは何か？をいつも考えています

今回私はJICAの教師海外研修に応募し、2週間の海外研修に行くことができました。ブラジルに行き、日本との違いにふれることだけが目的なのではなく、「多文化共生」について根本から、深く考えることを目的とした研修です。研修の中で、他の学校の先生と話をする中で、南吉田小学校がとても恵まれた環境であることを実感します。常に様々な文化にふれることのできる環境であること、自分の文化や考えが当たり前だと考えていない先生方がいること。これからも皆さんと一緒に「多文化共生」について考えていきたいと思っています。